

2015
?
2016
年
度
主
題

東京まちだクラブ会長 後藤邦夫
確実に進もう 新クラブの設立
東新部部長 伊丹一之 (東京むかで)
ワイズの良さを発信しよう
東日本区理事 渡辺 隆 (甲府)
原点に立って、未来へステップ
アジア地域会長 Edward K.W.Ong (シンガポール)
愛をもって奉仕をしよう
国際会長 Wichian Boonmapajorn (タイ)
信念のあるミッション

今月の聖句

『 聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、
人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く
訓練をするうえに 有益です。 』

(新訳聖書「テモテ への手紙Ⅱ、3章16節」)

<<今月のテーマ>>

=LT=Leadership Training

2016年4月 第1例会プログラム

日時: 2016年4月11日(月) 18:30~20:30

場所: 町田市市民フォーラム(4階) 講習室

受付: 有田君 司会: 谷治君

- 1 開会点鐘と挨拶 後藤会長
- 2 ワイズのモットー、5つの誓い 一同
- 3 ワイズソング 一同
- 4 聖書朗読、祈禱 平本君
- 5 ゲスト・ビジター紹介 後藤会長
- 6 ハッピーバースデー
- 7 食 事
- 8 みんなで語ろう
「故・小山正直さんへの思い」
(ビジターの皆様も、沢山ご参加ください)
- 9 一般報告 ー
「多摩新クラブ」設立総会準備、など
- 10 閉会点鐘 後藤会長

#ゲスト・ビジターを歓迎します。出席希望者は、
前日迄に、ご連絡ください。弁当を用意します。

#クラブ会員は、欠席の場合は必ずご連絡ください。

連絡先: ☎ 0463-93-3841 後藤

「新クラブと共に ワイズを更に 楽しもう」

クラブ会長 後藤 邦夫

去る3月7日(月)、東京まちだクラブの私たちは、YMCA・ワイズ
の多くの会員の皆様と共に、ワイズの素晴らしい友、故・小山正
直さんを神のもとへとお返す、厳粛な告別式に参列させていた
だいた。特に私たちは、大事な、大事なリーダーを、クラブから失
ってしまった。他クラブの皆様も、同じ淋しさを感じておられるの
ではないかと拝察する。そして私たちは、これからクラブをどうす
るか、継続できるのか、その大きな課題に直面しているのである。

私たちは、この重大な課題を胸に、3月21日(月)の第2例会
を、夜間18:00~20:00の開催に変更して、全クラブ会員の参加を望
みながら、今年度の「定時クラブ総会」を開催することにした。ク
ラブ再興に向けての協議が、中心議題となった。

私たち東京まちだクラブは、クラブの超高齢化を克服する事が出
来ずに、やむなく、クラブ解散を覚悟しようとの認識もあったが、
小山さんを亡くした今、誰からともなく、「小山さんのご期待に応え
よう!」との熱気が盛り上がり、解散意識は完全に吹き飛んでしまっ
た。そして私たちは総会で、次のような決定を行ったのである。

「私たちは、現・東京まちだクラブの活動を継続推進し、新加入
者(転入者など)の加入促進につとめ、共に豊かなワイズライフを
楽しむ活動を進める」そして、クラブ会長主題(案)「新クラブと
共に ワイズを更に 楽しもう」を、全員で承認したのであった。

私の心の中では今、「心を高くあげよ!」との讃美歌が響いている。

「霧のようなうれいも/やみのような恐れも/みなうしろに投げ捨て/
こころを高くあげよう。皆さん、元気で、頑張りましょう!!

<3月 データ> 在席会員数: 8名(うち、広義会員1名)

例会	メン	7名	フェンド(2015~2016)	
出席	メネット	2名	切手(年度累計)	TOF
人数	ビジター	2名	国内切手 320gr.	(FF)
	ゲスト	0名	外国切手	CS
	計	11名	現金	円 ASF
	メーキャップ			RSM
	3月 会員出席率	100%	多摩南地区新クラブ設立活動資金に 50,000円を拠出。	
	3月 ワイワイ指数	157%	2/10、東日本区費 54,500円、自由献金 16,950円を送金。	

会 長 後藤 邦夫
副会長 山田 スエ
書記・会計 小山 正直
EMC 谷 治 英俊
幹 事 有田 士朗
" 前山 昭子
チャプレン 平本 善一
担当主事 松本 竹弘



故 小山 正直ワイズを偲び、小山さんの
2つの文章を、ここに、ご紹介させていただきます。

第6代(2002-2003年度)理事

小山正直(東京まちだ)

「共に生き 共に祈る ワイズの愛」

東日本区の発足以来の懸案であった「暫定定款を改定して、新たに東日本区定款を制定する件」が、前々年度の代議員会と郵便投票(前年度)による採決を経て、2002年7月に国際議会で承認され、次年度2003年7月からの施行がこの年度に確定したので、新定款の施行に向けて、その目的・モットーの理解の普及・浸透を図った。

すなわち、「イエス・キリストの教えに基づき・・・」を「イエス・キリストの愛と奉仕の実践を目指し・・・」と普遍性をもつ表現に改めた点を、ワイズメンズクラブがキリスト教信仰を押し付けることなく、個々のライフスタイル(思想・信条)に合わせて、愛と奉仕のクラブ活動を進めようと定義した経緯を協調し、禰子(ねこ、神道者)も釈子(しゃくし、仏教徒)も、併せて基子(きこ、クリスチャン)も共に生き、よりよい世界の実現のために共に祈り、努力するのがワイズメンズクラブであると解説し、真意を伝播した。

3月には、イラクの大量破壊兵器査察をめぐる米英の武力攻撃の緊迫度が高まった中、ワイズメンズクラブ国際会長の「中東情勢の平和的解決を」のアピールを支持して、東日本区は「暴力にノーを！」と声明を発した。しかし、戦争は始まってしまい、子供や女性、年老いた人など、多くの弱い人々が戦禍の中に犠牲となり、国際秩序の早期修復が望まれたのであったが、平和の実現は遠かった。

この数年、会員の減少、在籍者の高齢化が進み、5年先、10年先を見据えたEMC作戦が急務と論じられ、若者(元ユースリーダーなど)に積極的に働きかけ、将来へ繋げようとメールマガジン発刊が企画された。また、会員拡大策として、女性会員の勧誘、元気な高齢者への誘いも奨励され、魅力的なクラブ、誇りを持つクラブのPR推進を奨励したが、会員増にはなかなか直結しなかった。そのような中、若いメンバーが結集した富士五湖クラブ(平均年齢46歳は東日本区最若年)の誕生は、この年度の特筆される快挙であった。

(「東日本区10年の歩み」(2008年版)から転載)

「高齢社会における

ワイズメンズクラブのEMC」

(前略)

ここ数年、社会全般に、戦後第1期のベビーブームといわれる年代の人達が企業勤めの定年退職の時期となり、次なる人生への転機を迎えています。この人達を自陣営に取り込もうと、いろいろなNPOや市民活動グループが勧誘の方策を講じていますが、ワイズメンズクラブとしてもこの時流の外で傍観してはいられません。現に幾つかのクラブで、この世代の新会員を迎え、本人も新たな生きがいを見つけ、クラブも活力が蘇っている例があります。

EMCはワイズ組織の不変のテーマですが、高齢化の急進する社会の中で、このテーマの具体化に全クラブが取り組み、5年先、10年先を見つめて、クラブの中核となる人材を呼び込んでいかななくてはなりません。このEMCの実践例として1959年にチャーターした東京江東クラブ(関東東部)が挙げられます。即ち、チャーター後50年近くになる同クラブの平均年齢は現在52.8歳です。10年前には51.6歳であり、この10年間の平均年齢の上昇は1.2歳で、現在も40歳代、50歳代が多数活躍しています。

同クラブは、チャーター15年後と同30年後に、核になる会員を割愛して子クラブを作りながら、自クラブへは30~40歳代の新しいメンバーを導入して会員数を保持しています。新会員の勧誘は、年代があまり開いた間柄ではなかなか話が繋がらず、せいぜい5歳刻みに働きかけの輪を広げるのがよさそうです。

定年退職を迎えるのは男性ばかりではありません。社会の第一線で活躍していた女性、あるいは子育てが終わって生活に余裕のできた女性も次なる活動場所を探しています。ワイズの本ネットもメンバーとしてクラブライフに参画した人、しようとしている人も多く見受けられます。また、メンバーに先立たれた本ネットもメンバーとなってクラブ活動を継続しているケースも多々見られます。女性は概して男性より社会的で人の輪を繋ぎ広げるのがうまく、クラブの潤滑剤になりますから大いに勧誘したいものです。

若いときからYMCAにかかわり、また、ワイズに貢献してきたつわもの達は、高齢者とはいえども元気者です。

この元気老人の集まるクラブを、若い世代のエネルギーで活性化し、女性会員で和やかな雰囲気とし、まさに、若いも若きも、男も女も集うバランスのよい構成のクラブにリニューアルして、全員が生産者として、お客さん(消費者)ではない働き人として、みんなでクラブライフを満喫して行きたいものです。

(「ワイズ読本」(2008年版)から転載)

- 1983年 東京山手クラブに入会
- 1991年 東京まちだクラブにチャーターメンバーとして移籍
- 1995年 南東部部長(現在は若干編制替えて、東新部)
- 1997年 東日本区国内担当事業主任(2期)
- 2002年 第6代東日本区理事
- 2005年 東日本区幹事
- 2007年 東日本区組織検討委員長



<小山正直ワイズを偲び、まちだクラブも 頑張ります!!>

「讚美歌 18番」から —

「こころを高く あげよ！」

主のみ声に したがひ、

ただ主のみを 見あげて、

こころを高く あげよう。



霧のような うれいも、

やみのような 恐れも、

みな うしろに 投げ捨て、

こころを高く あげよう。

2016-17年度 東京まちだワイズメンズクラブ ＜定時＞ クラブ会員総会 順序



日時：2016年3月21日（月）18:00～20:00
場所：町田市民フォーラム(4F)第1学習室B

- 1. 開催挨拶 会長 後藤邦夫
- 2. 報告
 - (1) 故・小山正直会員の葬儀協力に感謝
 - (2) 後藤会長の退院（会員各氏の協力に感謝）
- 3. クラブ会員総会の開催
議案・審議方法の説明 後藤邦夫会長

＜議題1＞

「東京まちだクラブの今後について」

- (案1) 前年度クラブ総会での了解事項の通り、
新クラブの国際チャーター後に、解散について協議する。
- (案2) 現まちだクラブの活動を継続推進し、新加入者（会員・未会員）の確保に努め、共に豊かなワイズライフを楽しむ活動を進める。

＜議案 2＞

「次年度クラブ会長・3役等の担当者を指名する」

- (案) 会長 後藤邦夫
 - 副会長 谷治英俊
 - 書記 平本善一
 - 会計 谷治英俊
 - チャプレン 平本善一
 - 幹事 有田士朗・山田スエ
 - 担当主事 (YMCAの指名)
 - メネット連絡員 後藤和子
- (以上を中心に、担当分担を協議する)

＜議案 3＞

(案1) クラブ活動の日程・時間など

- ・第1例会：(毎月)第2月曜 18:30～20:30
但し、12月第1例会は、町田YMCA「市民クリスマス」を共同で開催する。

(案2)

- ・第2例会：(毎月)第3月曜 午後?・夜間か通常は「役員会」として開催するが、クラブクラブ3役のみでなく、クラブ会員全員の出席が期待される。 みんなで協議。

＜議題4＞

「多摩新クラブ設立への協力態勢」について ＜東京まちだクラブの協力態勢＞

- (1) 現行の準備委員会・準備会の進行に、積極的な協力を行う。
 - ・後藤会長が体調の都合で、協力不十分。
 - ・谷治さんが、全力で協力中、＜感謝＞。
- (2) 設立準備会活動費支援
 - ・まちだクラブ：5万円の提供(実施する)
 - ・コスモスクラブ：5万円の提供(実施する)
- (3) 設立準備会への参加・協力

・4月（第6回）設立準備会

日時：4月20日（水）18:30～20:30

場所：コンテニー多摩

出席者：谷治英俊・後藤邦夫（予定）

・5月設立総会

（まちだクラブ会員は、全員参加しよう!!）

日時：5月22日（日）午後3時～6時

場所：コンテニー多摩

（小田急「多摩センター駅」、徒歩5分）

故・小山正直宅 訪問挨拶 物品受渡しなどの件

以上の件で、後藤会長・後藤メネットが、谷治さんの車で、故・小山正直宅を訪問する。

=====

- ・日時：3月21日(月) 3時半～
- ・訪問者：後藤、後藤メネット、谷治、平本（予定）

・親族：小山憲彦さん/家族

菟淵光彦さん/家族

- ①小山親族で整理・保存
- ②東京まちだクラブ備品等の譲渡
- ③まちだクラブ備品などの管理・運搬を、平本会員に依頼する件

（今回のプリテン掲載は、後藤会長の体調都合により、資料のみの掲載とさせていただきます）



DBC 宝塚クラブ会長・鯖尻 佳子さん、
そして、西日本区3番目に多い女性軍の皆様へ感謝して
(退院して元気な、クラブ会長・後藤 邦夫から)

私は去る1月29日から2月20日までの3週間、病气入院して、皆様に大変な迷惑をかけておりました。そのような時、2月14日の午後のこと、家内メネットが病室に大変に嬉しい郵便物を持ってきてくれたのでした。何んと私たちのDBC・宝塚クラブ会長の鯖尻佳子会長と西日本区3番目に多い女性軍とご自慢の女性会員の皆様からの、嬉しいバレンタイン・カードでした。

このカードには、こう書いてありました。

『東京まちだクラブ会長 後藤邦夫 様
今日は2月14日、バレンタインの日。
宝塚クラブ女性軍よりチョコレートをお贈りさせていただきますね。
今、呼吸器の検査入院中でおられるとか、どうか一日も早いご快復を心よりお祈りしています。
ゆっくりご養生なさってくださいませ。
寒い毎日ですが、暖かい日は春の日射しを感じます。
チューリップの芽も伸びきているようです。
春はもうそこまで来ているのかもしれないね。
チョコレート召し上がって、元気が少しでも出れば、こんな嬉しいことはございません。

鯖尻佳子 2016. 2. 14 』

と書かれていました。

そして、色々な形のチョコレートの数々。大変においしくて、一包全部たべてしまってから、気がつきました。このチョコレート包は、まちだクラブ会員の数だけあるので、会員みんなへのプレゼントなのだ、と。全部食べてしまう前だったので、よかったです。

お陰で、私の病状は一気に好転し、2月20日に退院。神戸・宝塚の大変に美味しい、愛に満ちたチョコレートのお陰だと、心から、感謝しています。

そして退院後の3月14日(月)、東京まちだクラブの第1例会に、私はこの素晴らしい、愛に満ちた「バレンタイン・カード」と、美味しいチョコレートの包みを全部持参して、クラブの皆に私が病床で出会ったバレンタインの嬉しいストーリーを紹介しながら、皆でチョコレートを食べ合っただけでした。クラブメンバーはみな喜んで、一気に、食べ尽くしてしまいました。

さて、宝塚の女性軍の皆様へのお返しは何にしようかと、「嬉しい宿題」にヤッと気付いて、考えました。「そうだ!! 5月には、私たちが設立準備を進めて来たワイズ「新クラブ」の、晴れの「設立総会」がある。その時の記念の「宝物」にしよう、心に決めました。



『さて、どんな宝物か? 宝塚クラブの皆様、その時まで期待して、待っていてください、ね。

東京まちだクラブ会長 後藤 邦夫 2016. 3. 31 』

☆☆東京YMCAニュース☆☆

担当主事・松本竹弘

◆第690回 東京YMCA午餐会

子どもたちに寄り添う(いじめ・虐待・非行の現場から)

東京弁護士会の子どもの人権救済センターには、いじめや虐待に苦しむ子どもたちの深刻な相談が寄せられる。少年事件を起こした子どもの付添人として、子どもたちの抱える困難を目の当たりにしている坪井節子弁護士。子どもたちが何に苦しみ、私たち大人はどうすればよいのか、現場で出会った子どもたちの声から一緒に考えていく。

【卓話者】坪井節子(つばい せつこ)氏

弁護士/社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長

【とき】2016年4月11日(月)12:00~13:30

【ところ】東京大学YMCA

〒113-0023 東京都文京区向丘1-20-6

*東京メトロ南北線 東大前駅徒歩0分
改札前エレベータをのぼってすぐ。

【参加費】3,000円(食事なし1,500円)

【問合せ】東京YMCA賛助会事務局

電話:03-3615-5568 4/7まで

◆「ASCA(アスカ)クラス」開講20周年

20周年を迎えたことを記念して、2月14日、『発達障がいのある子の高校卒業後の「社会自立」の実現に向けて』をテーマに記念講演会が開催された。会場のアンケートには、「親がいなくなったらこの子はどうなるのか。将来が心配で参加した」など、保護者の切実な思いが寄せられ、保護者や支援機関のスタッフなど約140人が山手センターに集い、発達障がいの第一人者である講師陣の話に耳を傾けた。現在ASCAクラスは西東京センター、東陽町センター、南センターで開講している。また、2016年度4月より山手センターで「START-Y」を開講する。発達障がいまたはその可能性のある大学生を対象とした新規プログラムで、明星大学で開発された。時間管理やストレスコントロールなど、大学や就職先で必要な力を身につけていく。

東京YMCAからの<お知らせ>

新年度(2016年4月~)の東京YMCAの体制変更で、まちだクラブの担当主事・松本竹弘さんは、4月から山手センター主任主事にご就任の上、ワイズ山手クラブの担当主事に当たられます。そして小畑貴浩主事(現在、国際ホテル専門学校校長)が、東陽町本部で人事・労務を担当しながら、まちだクラブの担当主事としてご協力いただきます。松本さん、短期間ながら、本当に優れたご協力、有難うございました。小畑さん、東陽町からは少し遠いですが、よろしくお願いたします。(会長・後藤邦夫)

<編集後記>3月7日、私たちは、小山さんご自身の桜美林教会で心からの告別式を捧げ、まちだクラブの大黒柱・ワイズ東日本区の大リーダー、小山正直さんを天にお送りしました。小山さんは、ワイズの誰からも慕われる本当に素晴らしいワイズでした。

小山さん、私たちは、そのワイズを護り、育てます。(後藤邦夫)